

会員刊行文献目録

(2009.10~2010.10)

● 著書

- 安黒 務 (共著) 「苦難のしもべ」 「啓示」 「真理」 「罪」 「恥」 『聖書神学事典』 (鍋谷堯爾、藤本満、小林高德、飛鷹美奈子監修) いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 石黒則年 (共著) 「聖書の外典と偽典」 「アダム」 「死海文書」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 池上 安 (共著) 「バプテスマ」 「復活」 「幻・夢」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 泉田 昭 『実を結ぶリーダーシップ』 いのちのことば社、123 頁、1200 円
- 市川康則 (共著) 「現代の教会と信仰告白」 『聖書・教会・信条—信仰を告白し続ける教会形成をめざして—』 神戸改革派神学校、111 頁、1000 円
- 市川康則 (共著) 「永遠・永遠のいのち」 「摂理」 「創造」 「仲介者」 「良心」 「霊」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 伊藤明生 (共著) 「聖書の解釈」 「福音書」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 尾山令仁 「ヨハネが受けたキリストの啓示 (黙示録) 講解」 羊群社、327 頁、1500 円
- 大嶋美枝子 (共著) 「痛み・悲しみ」 「福音」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 大塚 篤 (共著) 「エッセネ派」 「サドカイ派」 「聖餐 (最後の晩餐)」 「パリサイ派」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 岡山英雄 (共著) 「迫害」 「反キリスト」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 金井由嗣 (共著) 「奥義」 「信仰」 「天地」 『聖書神学事典』 いのちのことば社、687 頁、7300 円
- 鎌野直人 (共著) 「行い」 「虚無」 「知恵」 『聖書神学事典』 いのちのことば

- 社、687頁、7300円
- 河野克也 (共著) 「贖い」「怒り」「犠牲」「十戒」「主の日」「法」「ヨベルの年」「律法学者」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 菊池 実 (共著) 「エルサレム」「道」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 橋内明裕 (共著) 「アンフィクテオニー (十二部族連合)」「神の御名」「祭司」「ささげ物」「主 (ヤーウェ、キュリオス)」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 工藤弘雄 (共著) 「祈り」「神の臨在」「主の祈り」「とりなし」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 窪寺俊之 (共著) 「牧師のメンタルケア」(8-92頁)『牧師とその家族のメンタルケア』いのちのことば社、208頁、1785円
- 窪寺俊之 (共著) 「スピリチュアリティとキリスト教」(143-172頁)『生命倫理における宗教とスピリチュアリティ』(藤井美和、浜野研三、木村英昭、窪寺俊之編) 晃洋書房、214頁、2625円
- 窪寺俊之 (共著) 「宗教的思考からスピリチュアルな思考へーM・S・クシュナーの悲嘆を中心に」(225-252頁)『死別の悲しみから立ち直るために』(平山正実編) 聖学院大学出版会、308頁、4200円
- 窪寺俊之 (共著) 「人生の危機状況におけるスピリチュアルケア」(9-19頁)『対象喪失の看護-実践の科学と心の癒し』中央法規出版、222頁、3150円
- 窪寺俊之 (共著) 「臨床牧会教育の歴史ーアメリカでの初期の状況」(9-23頁)『スピリチュアルケアを語る 第三集臨床的教育法の試み』関西学院大学出版会、170頁、1680円
- 倉沢正則 (共著) 「異邦人」「ユダヤ人キリスト者」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 黒川知文 (共著) 「西洋史とキリスト教ーローマ帝国からフランス革命までー」教文館、328頁、2800円
- 小林高徳 (共著) 「この世」「再臨」「さばき」「人の子」「黙示文学・黙示

- 的終末論」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 込尾隆義 (共著) 「十字架」「過越」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 榮 義之 『希望！輝きに向かいて』(ABCラジオメッセージ集) グッドワーク研究所、180頁、1200円
- 佐々木哲夫 (共著) 「異教」「戦争」「奴隷」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 清水武夫 (共著) 「選び」「祝福」「試練」「信仰告白」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 杉本智俊 (共著) 「隣人」「羊飼い」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 関野祐二 (共著) 「神の国」「奇蹟」「キリスト」「昇天」「処女降誕」「しるし」「たとえ」「マラナ・タ」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 瀧浦 滋 (共著) 「権威」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 竹内茂夫 (共著) 「詩篇」「祭り」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 津村春英 (共著) 「使徒」「十二弟子」『現代聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 鍋谷堯爾 『創世記を味わう I』いのちのことば社、236頁、2000円
- 鍋谷堯爾 「旧約聖書各巻概説」「アーメン」「栄光」「老い」「顔」「隠れたる神」「神 (概念、三位一体)」「神の御旨」「死」「時間・時」「名」「預言・預言者」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 西岡義行 (共著) 「宣教」「貧しさ・富」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円
- 橋本昭夫 (共著) 「安息 (日・年)」「回心・悔い改め」「義・義認」「終末論」「幕屋・神殿」「交わり (コイノニア、集会)」『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

飛鷹美奈子 (共著) 「家庭」 「姦淫」 「結婚・離婚」 「性」 「独身」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

福田充男 『敬天愛人—収穫のための働き人の育成』地引網出版、161頁、1200円

Mitsuo Fukuda, "Upward, Outward, Inward: Passing the Baton of Discipleship", Gloucester, UK: Wide Margin, Simon Cozens (tr.), pp136, \$12.99 (Kindle Edition, \$6.99)

Mitsuo Fukuda, 'A New Family Model for Japanese People,' in Paul de Neu (ed.) "Family and Faith in Asia: The Missional Impact of Social Networks" (Pasadena: Wm. Carey Library), pp. 217-227, \$15.99

藤本 満 (共著) 「神の像」 「敬虔」 「自由」 「赦し」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

藤原尊夫 (共著) 「説教」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

正木うらら (共著) 「幸い」 「ディアコニア」 「残りの者」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

真鍋 孝 (共著) 「謙遜」 「傲慢・高ぶり」 「聖霊の賜物」 「平安・平和」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

丸山悟司 (共著) 「誓い」 「報い」 「恵み」 「召し」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

三浦 譲 「新約聖書各巻概説」 「エルサレム会議」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

水草修治 (共著) 「悪」 「悪魔・悪霊」 「異端」 「偶像」 「救い」 「善」 「霊媒・占い」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

湊 晶子 (共著) 「キリスト教女子教育のミッション(使命)を問う」 『日本開国とプロテスタント宣教150年』いのちのことば社、241頁、1700円

湊 晶子 (共著) 「現代のキリスト教学校教育と家庭教育に期待するもの」 『キリストにあってひとつ』日本聖書協会、477頁、2381円

湊 晶子 『女性を生きる』(角川 ONE テーマ21) 角川書店、173頁、740円

宮村武夫 『愛の業としての説教』(宮村武夫著作1) ヨベル、321頁、1800円

宮村武夫 『神から人へ・人から神へ』(宮村武夫著作5) ヨベル、361頁、2800円

村田充八 『宗教の発見——日本社会のエートスとキリスト教——』晃洋書房、286頁、3780円

森田美芽 『キェルケゴールの女性論』創言社、350頁、5400円

安田吉三郎 (共著) 「割礼」 「祭儀」 「山上の説教」 「律法」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

山口陽一 (共著) 「日本プロテスタント宣教150年の歴史的経過、第一部1859～1909年、第二部1909～1959年」(28-79頁) 『日本プロテスタント宣教150年の記録 キリストにあってひとつ』日本聖書教会、477頁、2381円

山口陽一 (共著) 「公会主義」と21世紀の日本プロテスタント」(50-63頁) 『日本伝道コンサルテーション プロテスタント宣教150年の今、日本伝道を考える』東京基督教大学国際宣教センター、108頁、1000円

山口陽一 (共著) 「前文、第一章日本プロテスタント宣教150年、結文」(26-38、107-108頁) 『札幌宣言』いのちのことば社、215頁、1400円

山口陽一 (共著) 「教会アーカイブズへの接近」(13-20頁) 『教会アーカイブズ入門』いのちのことば社、143頁、1300円

山口陽一 (共著) 「列福と和解—キリシタン弾圧と日本」(107-120頁) 『和解と教会の責任』いのちのことば社、141頁、1000円

山崎ランサム和彦 (共著) 「光」 「闇」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

Kazuhiko Yamazaki-Ransom, "The Roman Empire in Luke's Narrative", LNTS 404, London: T & T Clark International, 256pp, £70.00.

山中猛士 (共著) 「感謝」 「賛美」 「霊の歌」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687頁、7300円

油井義昭 (共著) 「油注ぎ」 「アダム」 「按手」 「王」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687 頁、7300 円

渡辺 聡 『東京バプテスタ教会のダイナミズムー日本唯一のメガ・インターナショナル・チャーチが成長し続ける理由 (わけ) 』ヨベル、161 頁、1000 円

渡辺睦夫 (共著) 「希望」 「新生」 「聖霊」 『聖書神学事典』いのちのことば社、687 頁、7300 円

● 訳書

G. ロイド・カー／グウェンドリン・C. カー 著、川越敏司訳 『自殺者の遺族として生きるーキリスト教的視点』新教出版社、180 頁、2100 円

ダグラス・J・ムー著、三浦謙訳 『ヤコブの手紙』 (ティンデル聖書注解) いのちのことば社、226 頁、3400 円

マーク・ディーセン・ネイション原著、南野浩則訳 「第五章 「社会的責任」 か、十字架のつまずきかーヨーダーにおけるキリスト者の責任」 『ジョン・H・ヨーダーの神学 平和をつくり出す小羊の戦い』 (東京ミッショナリー研究所ヨーダー研究会編) 新教出版社、221 頁、1900 円

リチャード・リシヤ著、加藤常昭・吉村和雄・平野克己・藤原導夫訳 『説教をめぐる知恵の言葉・上』キリスト新聞社、442 頁、6825 円

● 論文

石黒則年 「詩篇第 1 篇についての釈義的一考察」 (『大阪キリスト教短期大学紀要』第 48 集、大阪キリスト教短期大学) 1-11 頁

市川康則 「神学エンサイクロペディアにおける弁証学の位置ーA・カイパー B・B・ウォーフィールド、C・ヴァンティルの場合ー」 (『改革派神学』第 37 号、神戸改革派神学校) 3-37 頁

岡村直樹 「クリスチアンユースの信仰成長に関するグラウンデッドセオリーを用いた質的研究」 (『キリスト教教育論集』18 号、日本キリスト教教育学会) 1-16 頁

岡村直樹 「クリスチアンユースの死生観に関する質的研究」 (『キリストと

世界』20 号、東京基督教大学) 40-65 頁

Naoki Okamura, "Un-Autobiographical Autobiographies: Investigating the Life-stories of Ten Elderly Nisei Christian Women at a Local Japanese American Church" The Journal of the Religious Education, Vol.105, Number 3, May-June, Routledge, 330-348pp.

川越敏司 「神の国と障害者」 (『福音と世界』第 65 巻 2 号) 40-45 頁

木内伸嘉 「エゼキエル書 18 章におけるいのちと死」 (『Exegetica』20 号、聖書釈義研究会) 69-101 頁

窪寺俊之 「スピリチュアルなものへの魂の叫び」 (『論集キリスト教と神学』第 25 号、聖学院大学出版会) 51-70 頁

窪寺俊之 「スピリチュアリティの現在と未来」 (『玉川大学人文科学研究センター年報』第 1 号、Humanitas) 108-117 頁

窪寺俊之 「医療におけるスピリチュアルケアの視点」 (『心身医療』第 50 巻 第 5 号、日本心身医学学会) 353-363 頁

窪寺俊之 「宗教がスピリチュアルケアに貢献するもの」 (『宗教研究』日本宗教学会) 79-104 頁

黒川知文 「ロシアにおける反ユダヤボグロム史のための資料集 (1)」 (『愛知教育大学研究報告』第 58 号) 41-46 頁

黒川知文 「ロシアにおける反ユダヤボグロム史のための資料集 (2)」 (『愛知教育大学研究報告』第 59 号) 54-62 頁

黒川知文 「ロシア文明論の検-ニレフスキーとヴェーバー」 (『比較文明』比較文明学会、第 25 号) 79-92 頁

塚本 恵 「H. ティーリケの神学的人間学をめぐって」 (『大阪キリスト教短期大学紀要』第 49 集、大阪キリスト教短期大学)

津村春英 「ヨハネ共同体組織についての一考察」 (『大阪キリスト教短期大学紀要』第 49 集、大阪キリスト教短期大学) 15-25 頁

中村 敏 「吉野作造と朝鮮問題ー日韓併合前後から三・一独立運動までを中心としてー」 (『吉野作造研究』第 7 号、吉野作造記念館) 31-42 頁

野口 誠 「創世記一章一節は、その一章の表題か」 (『宗教研究』365 号、日本宗教学会) 294-295 頁

- 三好明久 「山崎製パン株式会社創業者飯島藤十郎の物語とその経営理念の継承に関する一考察」『理念・哲学・スピリットの世代間継承および地域内あるいは地域間伝達のプロセスの研究報告書』（天理大学地域文化研究センター）19-30 頁
- 森田美芽 「キエルケゴールの女性論—実存、他者、宗教性」『新キエルケゴール研究第8号』キエルケゴール協会、24-47 頁
- 森田美芽 「人権教育と道徳教育」『大阪キリスト教短期大学紀要 神学と人文』第49集、77-87 頁
- 山口勝政 「論説：現代福音主義の危機とシンボ『地方伝道』」（『第10回シンポジウム「地方伝道を考える—自立と連帯」報告書』北関東神学研修センター）1-12 頁
- 山口勝政 「統合失調症の聖書カウンセリング」（『聖書カウンセリング研究』4号、聖書カウンセリング研究会）5-13 頁
- 山口陽一 「キリシタン禁令とプロテスタント百年—ベッテルハイムから敗戦まで」（『福音主義神学』40号、日本福音主義神学会）215-231 頁
- 山口陽一 「戦時下の教会はなぜ神社参拝をしたのか」『日本同盟基督教団史研究』3号、日本同盟基督教団史編纂委員会）21-34 頁
- 大和昌平 「不干斎ファビアン研究（二）」（『基督教神学』22号、東京基督教神学校）65-99 頁
- 大和昌平 「般若心経における『空』理解による日本宣教の可能性」（『宣教学ジャーナル』4号、日本宣教学会）26-51 頁

● その他

小嶋 崇（翻訳論文） <http://www014.upp.so-net.ne.jp/NTW-dokushokai/ransindex.htm>

部会・理事会報告 (JETS 掲載)

●東部部会

1. 理事会構成

○役員理事 理事長：内田和彦

書記：関野祐二

会計：渡辺 聡

○学会誌：木内伸嘉、藤本 満

○部門理事 聖書学：三好明、大坂太郎

組織神学：岡村直樹

歴史神学：丸山悟司

実践神学：藤原導夫、福井誠

2. 研究会・講演会

①春期研究会：2009年6月8日(月)

主題：「日本教会史の検証 I—プロテスタント宣教150年を迎えて」

発題1 山口陽一氏「キリシタン禁令とプロテスタント100年——

ベッテルハイムから敗戦まで——」

発題2 上中 栄氏「ホーリネス史と日本宣教」

コーディネーター 藤本満氏

②秋期研究会：2009年11月30日(月)

主題：「日本教会史の検証 2—プロテスタント宣教150年を迎えて」

発題1 中村 敏氏「戦後における福音派の歴史」

発題2 三宅規之氏「戦後におけるペンテコステ派の歴史」

コーディネーター：大坂太郎氏

③部門活動：なし

3. 会員異動

〈入会〉蔡孝全氏

〈退会〉Gilbert T. Zinke 氏、片山信彦氏、藤巻 充氏、

●中部部会

1. 理事会構成

○役員理事 理事長：安村仁志

書記：関 昌宏

会計：佐々木保雄

○学会誌：檀原久由、東 正明

○中部部会報：檀原久由

○無任所：池上 泉

2. 研究会・講演会

①公開講演会 2009 年 5 月 18 日

金井由嗣氏「福音主義者としての教父研究のモチベーション」

②秋季研究発表会 2009 年 11 月 9 日

白井 仁氏「ファン・ルーラーの聖霊論」

③中部部会報 第 10 号

安村仁志氏「巻頭言」

白井 仁氏「ファン・ルーラーの聖霊論」

松浦 剛氏「会堂建築から見た課題」

④第五回日本伝道会議レポート

関 昌宏氏

檀原久由氏

東 正明氏

3. 会員異動

なし

●西部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事：理事長：市川康則

書記：正木牧人

会計：鷹取裕成

◎学会誌：市川康則、安黒 務

◎理事：大田裕作、金井由嗣、瀧 浦滋、津村春英、

橋本昭夫、真鍋 孝、鎌野善三、福田充男

2. 研究会・講演会

① 2009 年春の研究会 4 月 20 日（月）（神戸ルーテル神学校）

テーマ「牧師のアイデンティティ」

講演：工藤弘雄氏

コーディネーター：橋本昭夫氏、真鍋 孝氏、福田充男氏

② 2009 年秋の研究会 11 月 16 日（月）（関西聖書学院）

テーマ「福音主義神学：再考—聖書、伝統、文化の中で—」

講演：安黒 務氏、金井由嗣氏、坂井純人氏、正木牧人氏

コーディネーター：安黒務氏、市川康則氏、金井由嗣氏

3. 会員異動

〈入会〉正会員：大島善直氏、石崎伸二氏、高山裕行氏

準会員：仲井隆典氏、野崎浩二氏

●学会誌報告

①学会誌委員

東部：木内伸嘉、藤本 満（会計）

中部：檀原久由（書記）、東 正明

西部：市川康則（編集長）、安黒 務

② 40 号発行

特集テーマ「伝道」 2008 年全国研究会議特集

③ 41 号は、日本福音主義神学会 40 周年記念誌号とする

● 第13回全国研究会議準備委員会報告

開催日：2010年6月6日（月）午前10時～午後13時

場所：名古屋国鉄会館7階ひかり会議室

出席者：東部部会 岡村直樹、大坂太郎（内田氏の代理）

中部部会 佐々木保雄

西部部会 安黒 務

テーマ：「説教コミュニケーション&トランスフォーメーション」

会場：中央聖書神学校（東京都豊島区駒込3-15-20）

日程：2011年10月25日・2011年10月31日

2011年11月1日のいずれかで始まる2泊3日。

この日程については、東部部会理事会で7月26日にて確定する。

プログラムの概要（案）：山口陽一氏に初日夜の基調講演を依頼する。内容は

教会の説教を歴史的に振り返り、問題提起と展望をまとめていただく。講

演原稿を12月までにお願ひし、準備委員会で2日目の朝と夜、3日目の

朝の講演、応答の三つの時間を担当していただく方を検討する。2日目の

午後はワークショップ、パネルディスカッションなどを検討。

● 全国理事会報告

〔日時〕 2010年6月6日（月） 午後2:00～5:00

〔場所〕 名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

〔出席〕 東部：岡村直樹、大坂太郎（内田和彦代理）

中部：佐々木保雄

西部：市川康則（理事長）、鷹取裕成（会計）、正木牧人（書記）

学会誌：（市川康則）、オプザーバー：安黒務

欠席者：内田和彦（東部）

■ 開会の御言葉と祈祷：市川理事長 I コリント9:19～27

■ 報告：

1. 全国理事会（正木） 配布「2009年度全国理事会議事録09/06/15」

・ 前回理事会で承認済み。議事録を確認した。

2. 各部会報告 承認

・ 西部：（正木）2010/04/19 部会総会議事録より報告。

・ 中部：（佐々木）2010/05/17 部会総会議事録より報告。

・ 東部：（岡村）2010/06/14 予定の部会総会資料より報告。

3. 学会誌：報告（市川）

・ 40号発行「2008年全国研究会議の発題、応答への応答」

4. 会計（鷹取）

・ 別紙「日本福音主義神学会全国会計2009年度決算報告」に基づいて報告

承認

5. JETS ニュース（佐々木） 32号を発行した。

6. 全国会員名簿を2010年に発行した。各部会からの訂正箇所をまとめて、JETS

ニュースと合わせて正誤表を発行する。

■ 審議：

1. 役員構成

・ 全国理事長：内田和彦、全国書記：関野祐二、全国会計：鷹取裕成

2. 学会誌

・ 第41号は日本福音主義神学会創立40周年になる。その振り返りと展望

3. 全国会計予算 別紙のように2010年度予算承認

4. JETS ニュース

・ 7月未までに原稿提出のこと。巻頭言：内田和彦新理事長。作成担当：佐々

木会員名簿訂正を各部会から送る。

5. 第13回全国研究会議に向けて

・ 午前の準備会の報告を受けて検討し、大筋で承認した。

6. 学会誌委員会よりホームページに関する提案と説明（安黒）

① 学会としてのホームページを作る。その際これまでのドメイン名

evangelical-theology.jp を使い学会誌はその中に組み入れる。

- ② 部会案内、部会研究発表など総合的に学会の研鑽と交わりを宣伝のため
に、統合されたホームページを安黒務氏に制作をお願いする。
- ③ 全国会計の中に出版基金がありこの中から統合されたホームページ構
築費用を捻出する。制作会社に依頼したら、70～100万円であろうと思
われるが、30万円ぐらいで検討する。
- ④ 可能であれば部会の研究会の宣伝、部会の研究発表のレジメのような資
料の閲覧など、地方にあつてなかなか学会の研究会に出席出来ない
方々がこのホームページから恩恵に預かることが出来るように考えら
れないか。講演の動画をアップすることが出来ることなど検討する。
- ⑤ 今後、紙の資料よりも電子資料に比重が移る中、この課題は急務と思わ
れる。

以上の説明を受け検討し、以下の決議をした。

決議：既存のホームページを、部会ページを中心に拡充する。この作業を安
黒務氏に依頼する。実務等については細部は藤本満氏、安黒務氏、鷹
取裕成氏で相談していただく。各部会に責任者を置き、ホームペー
書き換えの情報提供をお願いする。なお、書き換え実務は安黒務氏が
担当する。

7. 議事録確認

8. 次回全国理事会予定

2011年6月6日(月)14時～17時

名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

■閉会祈り 大坂太郎氏

日本福音主義神学会全国会計

2009年度決算報告および2010年度予算

収入の部

項 目	2009年度予算	2009年度決算	2010年度予算
東部分担金	150,000	150,000	350,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	400,000	400,000	400,000
学会誌売上	100,000	51,496	50,000
広告収入	150,000	200,000	150,000
献金	0	0	0
雑収入	0	91,693	0
前年度繰越	1,220,198	1,220,198	1,113,682
合 計	2,090,198	2,183,387	2,133,682

支出の部

項 目	2009年度予算	2009年度決算	2010年度予算
学会誌出版費	900,000	800,000	900,000
全国理事会費	150,000	91,500	150,000
事務通信費	10,000	1,170	10,000
ニュース発行費	30,000	31,125	35,000
研究助成費	50,000	0	50,000
全国研究会議費	100,000	0	100,000
名簿作成費	100,000	145,910	0
雑費・予備費	750,198	0	888,682
次年度繰越	0	1,113,682	0
合 計	2,090,198	2,183,387	2,133,682

総 計 現在額

項 目	金 額	項 目	金 額
出版基金	1,208,421	郵便振替	2,319,773
次年度繰越	1,113,682	現金	2,330
		未収金	0
合 計	2,322,103	合 計	2,322,103

論文執筆・投稿要項

——『福音主義神学』原稿執筆について——

日本福音主義神学会

1. 提出方法

原稿は、ワープロで提出してください。コンピュータによる場合は、MSワードがベターです（この件に関しては各部会の編集委員にご相談ください）。ファイルのほかにプリントアウトしたものを付け、その上で、文字の強調やイタリックを示してください。論文中のヘブル語の表記は、子音のみならば、ヘブル語、その他の場合は音写による（カナまたはラテン文字）。ギリシャ語は原文のまま（特にアクセント、プリージングを正確につけてください）。論文は横書きですので、数字はアラビア数字になっていることを確認してください。

2. 枚数

論文、研究ノートは15,000字から18,000字（たとえば、B5の紙、30字×30行のレイアウトで、16頁から20頁。書評、文献紹介は、2,000字から4,000字程度（先のレイアウトで3頁から5頁）。字数が超過した場合、書き直しをお願いすることがあります。

3. 締切期日

論文は毎年6月末日までに所属する部会（東部、中部、または西部）の編集者に提出してください。書評、紹介なども同様とします。

4. 投稿

論文、書評の依頼は編集委員会から行いますが、論文を投稿することもできます。この場合、まず投稿論文のアウトラインと要旨を3月末日まで所属の部会の編集者に原稿を提出します。そして、編集委員会の審査を受けることとなります。採用された場合、原稿の締め切りは6月末日です。

いずれの場合にも、原稿の最終取捨選択権は編集委員会にあります。

5. 注 記

注については、最近号の『福音主義神学』を参照してください。

6. 校 正

論文の校正は、原則として編集委員会で行います。なお、原稿提出後の訂正は最小限にし、する場合にも、ほぼ同一字数以内での差し替えを原則とし、数行にわたる組み替えを必要とする加筆、削除などはご遠慮ください。

7. 原 稿 料

懸賞論文以外のものについて、原稿料は支払われません。論文については、会誌を10部、書評などに対しては三部を執筆者に贈呈します。

文献表記の仕方について

1. 邦語文献

(1) 単行本

- ・佐々木順三『教会暦年の研究』（聖公会出版社、1939年）54頁
- ・ルネ・パーシュ『イエス・キリストの再臨』（いのちのことば社、1978年）53-54頁を参照。

- (2) 一つの本の中に多くの著書があり、その一つひとつが独立した論文になっている場合

- ・岸本通夫『印欧語の移動とヒッタイト王国の台頭』『岩波講座、世界歴史』I（岩波書店、1969年）161-63頁

(3) 論文

- ・内田和彦『新約聖書における福音と文化』『福音主義神学』第19号（日本福音主義神学会、1988年）96-117頁
- (4) 直前に引用した本を続いて引用する場合

前掲書、32頁

- (5) 間に別の本が入っている場合

・ルネ・パーシュ『イエス・キリストの再臨』（著者名と書名だけ）60頁

2. 外国語文献

一般原則は、次の本を、表記の具体例は (a) 以下を参照してください。

Kate L. Turabian. A Manual for Writers of Term Papers, Thesis, and Dissertations, 4th ed., Chicago: University of Chicago Press, 1973.

(a) Books

One Author

Paul Tillich, Systematic Theology, 3 vols. (Chicago: University of Chicago Press, 1951-63), p.9.

Three authors

Bernard R. Berelson, Paul F. Lazarsfeld, and William McPhee, Voting (Chicago: University of Chicago Press, 1954), pp.93-95.

More than three authors

Jaroslav Pelikan et al., Religion and the University, York University Invitation Lecture Series (The University of Toronto Press, 1964), p.109.

Editor as "author" (same form used for compiler)

J.N.D. Anderson, ed., The World's Religions (London: Inter-Varsity Fellowship, 1950), p.143.

Article in a journal

Don Swanson, "Dialogue with a Catalogue," Library Quarterly 34 (December, 1963), p.115.

(b) "Ibid"

When references to the same work follow each other without any intervening reference, even though the references are separated by several pages, abbreviation "ibid." for the Latin ibidem, "in the same place"

is used to repeat as much of the preceding reference as is appropriate for the new entry:

1 Max Plowman, *An Introduction to the Study of Blake* (London: Collaces, 1952), p.32. [A first, and therefore complete, reference to the work.]

2 *Ibid.* [With no intervening reference; a second mention of Plowman's work requires only "*Ibid.*" Notice that "*Ibid.*" is not underlined.]

3 *Ibid.*, p.68.

For a book, a second or later reference to a work already cited in full form, but not in the reference immediately preceding, omits the facts of publication, series title, if any, edition (unless more than one edition of the same work has been cited), and total number of volumes. Thus pared down, the reference consists of author's last name, title of the work, with page, and volume number as well, if necessary. Note the full reference in footnote 1 and a later reference to the work as shown in (arbitrarily numbered) footnote 9.

1 Gabriel Marcel, *The Mystery of Being*, 9 vols. (Chicago: Henry Regnery Co., 1960), 1:42.

9 Marcel, *Mystery of Being*, 2:98-99.

賛助会員一覧

日本福音主義神学会の運営は、次の賛助会員、諸教会、諸団体によって支えられております。ここに心からの感謝を申し上げます。

〈東部部会〉

日本基督バプテスト連合宣教団

東京基督教大学

柏崎聖書学院

東京聖書学院

東京基督神学校

聖契神学校

中央聖書神学校

日本キリスト改革派仙台教会

日本キリスト改革派東京恩寵教会

日本長老教会久我山教会

中央福音教会

練馬バプテスト教会

日本長老教会菊名西教会

練馬神の教会

〈中部部会〉

東海聖書神学塾

墨 鉦 平

〈西部部会〉

大阪キリスト教短期大学神学科

関西聖書学院

関西聖書神学校

神戸改革派神学校

神戸キリスト教書店

神戸ルーテル神学校

堺大浜キリスト教会

四条巖キリスト教学院

福音聖書神学校

日本キリスト改革派神港教会

カベナタワー書店

福音主義に立つ

神学教育



アジアの

敬愛にたいし知れを尽くす

アジア神学協議会 (ATA) 認可

Asia Graduate School of Theology/Japan

(AGST/J)

理事長 佐布 正義 校長 橋本 昭夫
教務 正木 収人

◆ Doctor of Theology: Th.D.

神学の各分野における最高度の専門的研究を行うことにより、神学教育機関で働く神学教師を育成。

◆ Master of Theology: Th.M.

神学教育機関の教師の養成と教会活動の専門家を育成
聖書学 (旧約・新約) 専攻 ・ 組織神学専攻
歴史神学専攻 ・ 宣教学専攻

◆ Doctor of Ministry: D.Min.

地域教会の牧会・伝道や世界宣教の分野における高度の専門的研究を行うことにより牧会・宣教の専門家を育成

神学博士 2 名、牧会学博士 16 名、神学修士 8 名の学位論文を出版、実費で頒布中。

2009 年度在籍者 神学修士課程 12 名、牧会学博士課程 13 名。入学願書締切 6 月 30 日、入学試験 8 月下旬。

● 資料請求・問い合わせ先 (お近くの研修センターへ)

関東 〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 東京聖書学院内
AGST/J 事務局 TEL 042-391-3076

本部/関西 〒651-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5 神戸ルーテル神学校内
AGST/J 事務局 TEL 078-221-6956



大阪キリスト教短期大学

学長 (神学教育責任者) 津村 春英

(神学系) 専任教員: 池田美芽、石黒則年、重富勝己、塚本恵、津村春英
兼任教員: 木村裕彦、清野勝男、崔榮九、趙永哲、中江松二、畑野順一、真鍋孝
村田充八、森田悦弘、副島恵、山本美紀

◎国際教養学科 (定員 100 名)

- ・神学基礎コース: 牧師、伝道者をめざす基礎コース
- ・キリスト教文化コース: キリスト教文化を学んで就職するコース
- ・他に、国際教育コース、情報ビジネスコース、英語コミュニケーションコースがあります

◎専攻科 神学専攻 (定員 5 名) 牧師、伝道者養成課程 神学士(大学評価・学位授与機構)

国際教養学科	出願期間	試験日
一般入試 1 期	2011 年 1 月 14 日-1 月 25 日	1 月 29 日(土)
一般入試 2 期	2011 年 2 月 4 日-2 月 15 日	2 月 19 日(土)
一般入試 3 期	2011 年 2 月 25 日-3 月 8 日	3 月 12 日(土)
AO 入試	2011 年 1 月 11 日-3 月 8 日	ご本人に通知
専攻科神学専攻	出願期間	試験日
B 日程	2011 年 1 月 24 日-2 月 2 日	2 月 5 日(土)
AO 入試	2011 年 2 月 24 日-3 月 9 日	3 月 12 日(土)

- ・国際教養学科 AO 入試は出願に先立つエントリー期間(11/24-2/22)があります
- ・社会人入試、長期履修制度(2 年-3、4 年)があります
- ・詳しくは教学部入試担当までご相談ください

大阪キリスト教短期大学紀要第 50 集記念号 (2010 年度)

巻頭言

1. フィリピン教会史から日本伝道への教訓
2. J. カルヴァンの神学思想および聖書解釈について
3. 現代日本人への宣教に関する一考察
4. 大阪キリスト教短期大学におけるチャペル・アワーについて-その実践と課題-
5. ジョン・ヒック (John Hick) の実在中心的多元主義に関する考察
6. Christianization of Japan During the Occupation
7. 女性の会話に見られる認識的モダリティの役割
8. 日本の宗教と女性の創造性についての試み-仏教と女性-
9. 企業のパフォーマンスとイノベーション教育に関する研究
-世界に貢献する企業のパフォーマンスからの視座から-
10. キリスト教保育を支える保育者養成
-「宗教教育」の授業における学生の宗教観の推移に関する一考察-
11. 本学における学生相談の取り組みと教職員による学生支援向上
12. 心理療法と風-フレイゼンズをめぐる一考察-
13. (自由) をめぐるわが国の保育実践理論の変遷(1)-草創期の幼稚園教育における自由尊重-
14. 新美南吉における「村」の成立

学長

津村 春英

副学長

石黒 則年

塚本 恵

津村 春英

副島 恵

崔 榮九

池端 千賀子

内田 真弓

森田 美井

林 雄太郎

荒内 直子

葉山 貴美子

矢野 キエ

山本 淳子

森嶋 邦彦

〒515-0042 大阪市阿倍野区丸山通 1-3-61 電話 06-6652-2091(代表)

URL <http://www.occ.ac.jp> Email nyushi@occ.ac.jp

創立 1901 年 ますます拡充、前進を続ける。

東京聖書学院

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1
Tel 042-391-3076 (事務所(火)～(金)9～15時)
Fax 042-397-7558
■交通/西武新宿線東村山駅または
武蔵大和駅下車

【特色】

● 聖書の十全霊感を信じ、聖化の信仰に立つ聖書神学重視

【募集科目】 (1) 本科 (大学卒 3 年、高校卒 4 年) *その他インターン制度あり
*本科入学者希望者は、教会において献身者としての奉仕経験及び訓練が半年以上あることが求められます。

(2) 一年訓練コース (信徒の立場で主に仕えたい、教会で奉仕したいと願う人々のために設けられたコース) *原則として全寮制

(3) 信徒コース (通学生、通信生)

*講座名、申込方法については学院事務所にお問い合わせください。

【入学要項】

2011 年度入学 願書締切: 2011 年 2 月 22 日 (火)

試験: 2011 年 3 月 2 日 (水)

提出書類、授業料、食費その他については学院事務所に問い合わせください。

<http://www.jhc.or.jp/tbs/>

e-mail: tbs@jhc.or.jp



福音聖書神学校

校長: 真鍋 孝

モットー: 初代キリスト教会の信仰と実践に堅く立ち、兄弟愛をもって規律ある訓練と教育をほどこす。聖書信仰が強調され、それに基づく組織神学、実践神学が教えられる。アナバプテスト宗教改革精神を継承し、救済史のキリスト再臨時におけるイスラエル民族の独自の役割を認める健康カルヴィン神学の立場をとる。

課程: 本科神学課程 (大卒、あるいはそれと同等の学力を有する者、3 年)
本科キリスト教教育課程 (大卒、あるいはそれと同等の学力を有する者、3 年)
教会伝道者課程 (レイマン) 聴講制度あり

入学手続: 願書締切 2011 年 2 月 14 日

入学試験 2011 年 2 月 21 日、聖書・国語・英語の筆記試験と面接

詳細は神学校宛に問い合わせください。

教師陣: 日本メソヂスト・ブレザレン教団の教職他
備考: 牧師と教会の推薦する者の聴講を許可している。教会伝道者課程はレイマンの指導者要請を目的とするが、本科への転入も可能である。

日本メソヂスト・ブレザレン教団立 (超教派的に学生募集)

〒563-0038 大阪府池田市荘園 2 丁目 1 番 12 号 TEL 072-761-1397
e-mail: ebbs@wombat.zaq.ne.jp FAX 072-761-8200



ペンテコステ信仰にたって福音宣教の

使命に燃える者を訓練・育成する

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校

(ATA 認定校)

校長 北野 耕一

修業年限 3 年 (高卒 - Diploma、大卒 - B. Th.)

入学資格 高卒以上、召命の確信がある者

願書締切 2010 年 2 月 15 日 入学受験 2010 年 2 月 22 日

本校 本科 〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20

通信科 Tel: 03-3918-4925 Fax: 03-3918-4064

e-mail: cbc@ag-j.or.jp <http://www.cbc-j.ac.jp>

関西分校: 〒544-0034 大阪市生野区桃谷 1-5-6

関西福音センター内

(連絡先) 〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家 2537-4

加古川福音キリスト教会内

Tel/Fax: 0794 (25) 1406 e-mail: CZZ02556@nifty.ne.jp

十字架と聖霊 そして宣教 理事長: 豊村善典
学院長: 大田裕作



関西聖書学院

1961 年創立

【特色】全寮制・実践科目も充実!

福音派にも聖霊派にも通用する実践的働き人の育成

【コース】導きや献身を確かめながら、3週間コースからスタートできます

◆短期コース (毎年4月 3週間)

◆1年コース (信託リーダー・役員コース)

◆3年コース (教職者コース)

“受ける側から与える側へ”

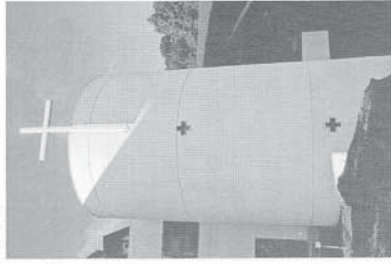
宣教師訓練コース (5月～11月 木・金の週2回)

・有力宣教団体公認

・宣教師候補者による充実講義

・明確な召命のある方の派遣前準備

・宣教についての関心のある方



〒630-0266 奈良県生駒市門前町22-1 TEL: 0743-70-8600 FAX: 0743-70-8601
E-mail: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp URL: <http://www.kbiwave.com/>



神戸ルーテル神学校

Sola Scriptura, Sola Gratia et Sola Fide
- ad Adventum Domini

聖書に立ち、恵みに支えられ、信仰に生きる

——主の来たりたもう日に向かって

- ◆神戸ルーテル神学校は、2007年、創立50周年を迎えました。福音主義的諸神学校との緊密な協力のもと、神学教育のわざに励むことができたことを感謝しています。卒業生も、他神学校からの神学修士課程履修生も含まれますと209名を数えるにいたりしました。ルター主義に立つ超教派の神学校として、ルーテル教会、改革派、メソヂスト、福音自由、ホーリネス、在日大韓教会、聖約教団、日本長老教会などに、さらにアメリカ、インドネシア、タイなどにも宣教師を送り出しました。神学修士課程の学びに加えて、教職Aコース、Bコースをもち、多彩な神学的ニーズに対応しようとしています。さらに充実した神学教育を通して積極的に日本の教会に貢献しようとしています。
- ◆毎年、夏（7月上旬）と秋（10月下旬）にリフレッシュ・コースという名のもとに、著名な講師などをお迎えして神学の集中講座を行っています。また、通信教育を通して神学の学びをすることができます。現在、「旧約学」「新約学」「説教学」「実践神学」の分野で優れた教材が用意されています。
- ◆アジア・グラデュエート・スクール・オブ・セオロジー・ジャパン（AGST/J）の神学研究センターとして、神学博士課程の学びにまでいたる神学研修の道を開いています。
- ◆願書締切 2月20日、入学試験 3月上旬。

教 師 陣

教 授		講 師	
■ 正木 牧人	（校長・教務・新約神学、組織神学、歴史神学、実践神学）	■ ボルド・ハウゲ	（新約神学）
橋本 昭夫	（学監・組織神学、歴史神学）	小賀野 英次	（旧約神学）
鍋谷 葵朗	（旧約神学）	レオ・ルッカ	（新約神学・実践神学）
田端 武	（新約神学）	正木うらら	（ギリシア語、ヘブル語）
クヌート・アルスボグ	（歴史神学）	海老原 道雄	（歴史神学）
角川 周治郎	（客員・組織神学）	竹内 茂夫	（旧ヘブル語、教会音楽）
徳善 義和	（客員・歴史神学）	田村 弘子	（教会音楽）
■ 助教授		勝原 忠明	（実践神学）
有木 義岳	（実践神学）	武川 公	（実践神学）

ほか講師多数

校長 正木 牧人

問い合わせは右記へ

〒651-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5
TEL 078-221-6956
FAX 078-221-5825
e-mail: office@koluthse.jp
http://www.koluthse.jp/
振替 01130-5-45575

関西聖書神学校

所在地 〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町 6-32-15
電話 078-751-2126 Fax 078-751-2311
URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~kbc-bw/> E-mail: kbc-bw@vanilla.ocn.ne.jp

「これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである。」
(ゼカリヤ 4:6)

◇ 創立 1924 年

- 修業期間：本科 3 年、基礎科 1 年、明確な召命を有する者
- バックストン、ウィルクス師らによってもたらされた聖書のきよめを高調
- 教育目標：聖書のきよめと人格教育の強調、霊的・知的・実践的訓練の実施、聖書の教会観・世界的視野を持った伝道者養成。
- 一次願書締め切り：2011 年 1 月 31 日（月）。一次試験：2011 年 2 月 12 日（土）。
- 二次願書締め切り：2011 年 2 月 28 日（月）。二次試験：2011 年 3 月 5 日（土）。
- * お問い合わせは上記住所まで

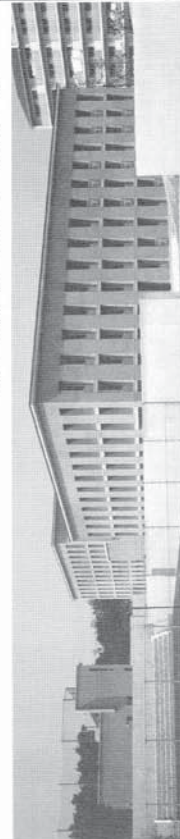
日本キリスト改革派教会 神戸改革派神学校

● 学生募集 ●

理事長 小野 静雄 校長 市川 康則

● 教育方針 歴史的改革派神学に立ち、神の真理を正確に教える教師、抱けるところのない牧者、忠実な伝道者を養成する。

- 本科受験資格 一年以上の忠実な教会員生活を送り、みこばの役者となるべく神からの召命を自覚している四年制大学卒業、あるいは同等の学力のある男子。
- 他に別科・特別研究科・聴講制度あり。



- 願書締切 2011 年 2 月 15 日（火）までに提出のこと ● 試験日 2011 年 3 月 15 日（火）
- 修学年限 本科 3 年 3 か月（四年制大学卒または同等以上の男子）
- 別科 3 年 3 か月（短大卒または同等以上の男子）
- 所在地 651-1306 神戸市北区葛藤が丘 3 丁目 1-3
電話 078-952-2266 FAX 078-952-2165 郵便振替 01140-5-12672
e-mail: rcj-kobe2266@nifty.com

The Japan Evangelical Theological Society

933-0322 富山県高岡市樋詰 48-2